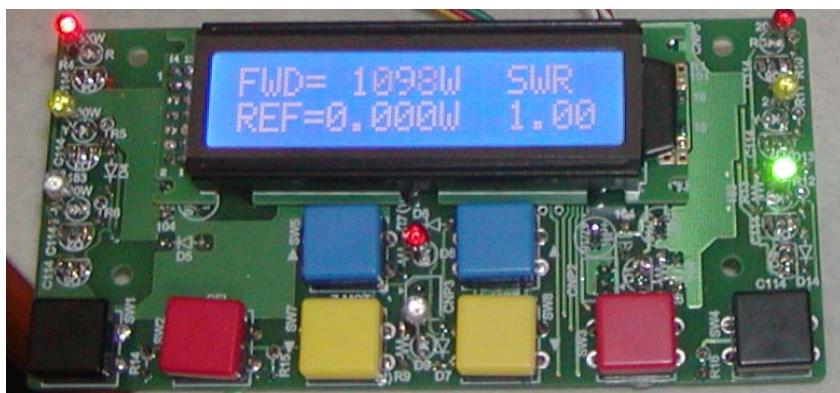


動作／機能説明／調整法

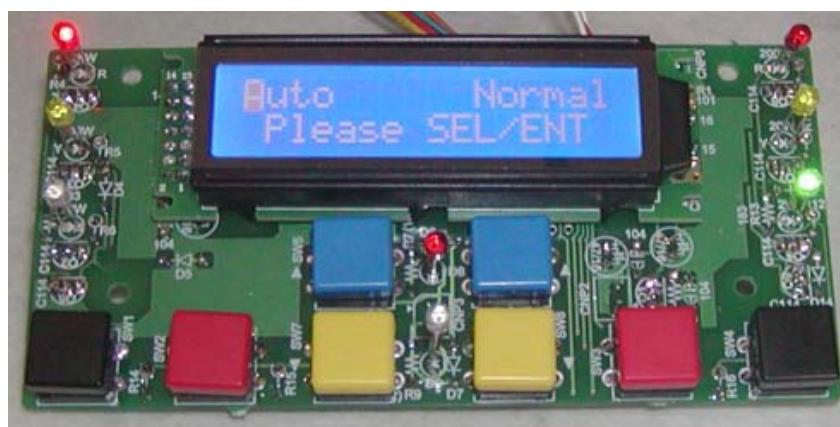
電源投入時は、ノーマルモードで立ち上がります。 FWDレンジ／REFレンジポジションは前の状態から立ち上がります。

ノーマルモード



1) SELECTモード

'SEL-Key' を押すと、Auto-MODEを選択するかNormal-MODEを選択するかの表示に切り替わります。'ENT-Key' を押すと、カーソルが点滅している項目が選択され実行されます。'SEL-Key' を押す毎に、Auto／Normalが順次切り替わります。



2) Autoモード

Auto-tune動作に入る前(ENT-Keyを押す前)に、ANTへの供給パワーは15W以上2000W以内の範囲で、シングルトーン／キャリア／2TONE いずれかの信号を発射しておくこと。各レンジ切り替えとアナログメーターでパワー確認は出来ます。

Auto-Tune動作期間中は、'SEL-Key' しか有効ではありません。



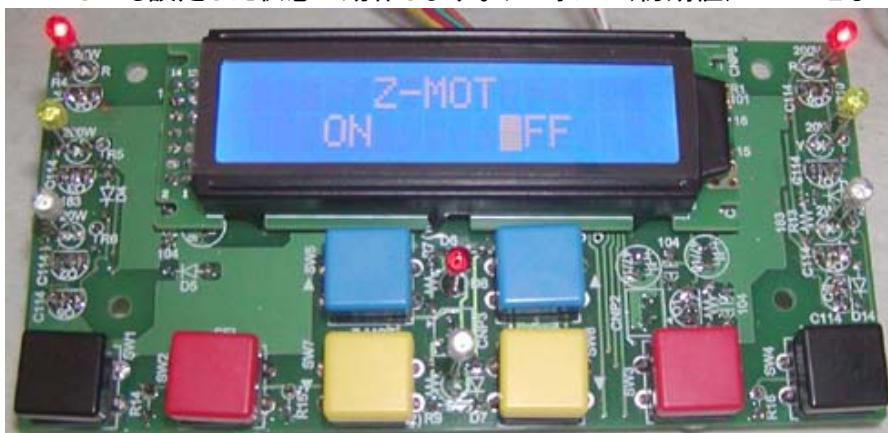
カプラーのマニュアルでのモーター制御は、ノーマルモードの時のみ、L-UP/L-DW/Z-UP/Z-DWが有効となります。UP制御しモーターが回転中は、UP-LEDが点灯します。DW制御しモーターが回転中はDW-LEDが点灯します。

3) Auto-Tune動作でのZ-MOTを禁止させる。

カプラーによっては、L-MOTだけでZ-MOTを設けていない、又は不要のケースがあります。この場合は、Z-MOT=OFFに設定して使用することが出来ます。

Z-UP'+'L-UP'を押しながら電源を投入します。

SEL-Key'で、ONかOFFのいずれかを選択し、'ENT-Key'を押します。以降は電源OFFしても設定した状態で動作します。デフォルト(初期値)=OFFとなっております。



4) オーバーレンジ表示

FWD-レンジ/REF-レンジ切り替えで、実パワーがメーターのフルスケール以上のオーバーレンジとなった場合は、オーバーレンジマークが表示されます。但し、オーバースケールしても、アナログメーターへの衝撃は発生しないように設定されています。例えば、20Wレンジで、2000W出力しても、何処へのダメージはありません。



【調整法】

信号は、シングルトーン/キャリアー/2TONE いずれを使用してもOK。

①2KWレンジ調整

FWD-レンジ=2KWにし、ダミーへの供給パワー=2KW出力し、VR4を回しFWDメーターがフルスケール=2KWとなるよう調整する。2KW出射出来ない場合は出射可能なパワーを出力する、1KWでも500Wでも、それぞれその値にメーター針を調整する。100W出力しか無い場合でも100W出力し、このレンジで100W目盛りに調整する。このレンジを調整しておかねば、他のレンジは出来ない。

②200Wレンジ調整

FWD-レンジ=200Wにし、200W出力し、VR2を回しFWDメーターがフルスケール=200Wとなるように調整する。

③20Wレンジ

FWD-レンジ=20Wにし、20W出力し、VR3を回しFWDメーターがフルスケール=20Wとなるように調整する。